

デーヴォ ガイド



2025.8.11-17

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ①お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。(2~3つ)
- ②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディボーションの分かち合い(なるべく短く)
- ④預言の祈り(主の御心を宣言して祈り)をします。

L T G Guide

セル ガイド

- ①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ディボーションの分かち合いをします。
- ④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ①この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと?
- ②この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか?(または誉めたいですか?) 1つだけ。
- ③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか?
- ④互いの必要のために祈りましょう。

Cell Group Guide

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは?(信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど)

②どんな思いになりましたか?(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか?(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか?)

④この世にあって何を実践しますか?

Family Worship

16:15 ところが、あなたは自分の美しさに
 拠り頼み、自分の名声に乗じて姦淫を行い、
 通りかかる人がいれば、だれにでも身を任せ
 て姦淫をした。

16:16 あなたはまた、自分の衣服を取り出し
 て、自分のために、斑に色どった高き所を造
 り、その上で淫行を行った。このようなこと
 はかつてなく、あってはならないことだ。

16:17 あなたは、わたしが与えた金や銀の美
 しい品々を取って、自分のために男の像を造
 り、それらと姦淫を行った。

16:18 あなたはまた、あや織りの衣を取って、
 それらの像をおおい、わたしの油と、わたし
 の香をその前に供えた。

16:19 あなたは、わたしが与えたわたしのパン
 や、あなたに食べさせた上等の小麦粉や、
 油や蜜までも、その前に供えて芳ばしい香り
 とした。そうではなかったか——【神】である
 主のことば——。

16:20 あなたはまた、わたしのために産んだ
 自分の息子や娘たちを取り、それらの像にい
 けにえとして献げて食べさせた。これでもま
 だ、あなたは姦淫が十分ではないかのように、
 16:21 わたしの子どもたちを殺し、これを焼
 いて、ささげ物とした。

16:22 あらゆる忌み嫌うべきことや姦淫をし
 ているとき、あなたは、かつて自分が丸裸の
 まま、血の中でもがいていた若いころのこ
 とを思い出さなかった。

16:23 あなたはこのすべての悪行の後で——
 ああ、何ということか。【神】である主のこ
 とば——

16:24 どの広場にも自分のために祭儀台を設

け、高台を造り、

16:25 道のどの分かれ目にも高台を築き、通
 りかかるすべての人に身を任せ、姦淫を重
 ねて、自分の美しさを汚した。

16:26 あなたは、良いからだをした隣のエジ
 プト人と姦通し、ますます姦淫を重ねて、
 わたしの怒りを引き起こした。

16:27 見よ、わたしは、あなたに手を伸ばし
 て、あなたの食糧を減らした。そして、あ
 なたを憎み、あなたの淫らな行いによって
 辱めを受けたペリシテ人の娘たちの欲望に
 あなたを委ねた。

16:28 あなたは飽き足りず、アッシリア人と
 姦通した。彼らと姦通しても、まだ飽き足
 りず、

16:29 商業の地カルデアとますます姦淫を重ね
 たが、それでも、あなたは飽き足りな
 かった。

16:30 あなたの心は、なんと燃え盛っている
 ことか——【神】である主のことば——。
 厚かましい遊女のするようなこれらのこ
 とを、ことごとく行うとき。

16:31 あなたはどの通りの角にも自分の祭儀
 台を設け、どの広場にも高台を造った。し
 かし、あなたは報酬を嘲ったので、遊女
 のようではなかった。

16:32 姦婦は自分の夫の代わりに、ほかの男
 と通じるものだ。

16:33 すべて遊女には代価が支払われるのに、
 あなたは自分のほうから愛人たちすべてに
 持参金を与え、贈り物もして、四方からあ
 なたのところに來させて姦淫をした。

16:34 だから、あなたの姦淫はほかの女の場
 合と反対だ。だれも、あなたを求めて姦淫
 をする者はいなかった。あなたが報酬を支

払い、あなたには、だれも報酬を支払わ
 なかった。あなたは反対のことをしたの
 だ。

旧約で姦淫とは、多くは偶像礼拝を指しま
 す。その中には「男の像」と言われる性器礼
 拝や、子どもを焼き殺すような礼拝など、恥
 と狂気に満ちたものもありました。靈的に
 曇ってしまった彼らにはその恐ろしさが分
 らなくなってしまったのです。

神ではないものを神として礼拝すること
 によって、狂気に絶対の權威を認めてしま
 います。その恐さを心に刻みましよう。そして日
 常的にもしっかりと警戒しましよう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の
 約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願
 いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなた
 の部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



12日 火曜

エゼキエル



16:35 それゆえ、遊女よ、【主】のことはを聞け。

16:36 【神】である主はこう言われる。あなたは愛人たちや忌み嫌うべき偶像と姦淫をして、自分の恥ずかしいところを見せ、自分の裸をあらわにし、それらに自分の子を献げて血を流したのだ。

16:37 それゆえ、見よ。わたしは今、あなたが戯れたすべての愛人たちや、あなたが恋した者や、憎んだ者をすべて寄せ集め、彼らを四方から集めて、あなたの裸を彼らにさらけ出す。彼らは丸裸のあなたを殺る。

16:38 わたしは、姦通した女と殺人を犯した女に下す罰によってあなたをさばき、ねたみと憤りをもってあなたの血に報いる。

16:39 わたしはあなたを彼らの手に委ねる。彼らはあなたの祭儀台を壊し、高台を打ち壊し、あなたの着ている物をはぎ取り、あなたの美しい品々を奪い取り、あなたを丸裸にしておく。

16:40 彼らは集団をあおってあなたを襲わせ、石であなたを打ち殺し、剣であなたを八つ裂きにする。

16:41 そのうえ、あなたの家々を火で焼き、多くの女たちの目の前であなたにさばきを下す。こうして、わたしはあなたの淫行をやめさせる。あなたはもう報酬を支払わなくなる。

16:42 わたしはあなたに対する憤りを収めるので、わたしのねたみはあなたから離れる。わたしは安んじて、二度と怒ることはない。

16:43 あなたが、自分の若かった日々を思い出さず、かえって、これらすべてのことでわたしを怒らせたので、見よ、わたしもまた、

あなたの頭上にあなたの行いを返す——

【神】である主のことは——。あなたはすべての忌み嫌うべきわざに、淫らな行いを加えなかったか。

16:44 見よ。ことわざを用いる者は、あなたについてこういうことわざを用いる。「あの母にして、この娘あり」と。

16:45 あなたは、自分の夫と子どもを嫌った母の娘。自分たちの夫や子どもを嫌った姉妹があなたの姉妹。あなたがたの母はヒッタイト人、あなたがたの父はアモリ人であった。

16:46 あなたの姉は、その娘たちと一緒にあなたの北に住んでいるサマリアであり、あなたの妹は、その娘たちと一緒にあなたの南に住んでいるソドムである。

16:47 あなたは彼女たちの道に歩み、彼女たちのした忌み嫌うべきわざをまねなかったらうか。ほんのわずかの間に、あなたはすべての道において彼女たちよりも墮落してしまった。

16:48 わたしは生きている——【神】である主のことは——。あなたの妹ソドムとその娘たちさえ、あなたと、あなたの娘たちがしたほどのことを決してしなかった。

16:49 だが、あなたの妹ソドムの咎はこのようだった。彼女とその娘たちは高慢で、飽食で、安逸を貪り、乏しい人や貧しい人に援助をしなかった。

16:50 彼女たちは高ぶって、わたしの前で忌み嫌うべきことをしたので、わたしはこれを見たとき、彼女たちを取り除いた。

16:51 サマリアも、あなたの罪の半分ほどまで罪深くはなかった。あなたが彼女たち以上に多くの忌み嫌うべきことをしたので、あ

なたのしたすべての忌み嫌うべきことが、あなたの姉妹たちを正しいとした。

16:52 あなたも、あなたの姉妹たちをかばった恥辱を負え。あなたが彼女たちよりも忌み嫌うべきことをして、罪が重かったため、彼女たちはあなたよりも正しいとされた。あなたも恥じて、あなたの姉妹たちを正しいとした恥辱を負え。

偶像礼拝は「恥ずかしいところを見せ」ることなのだ、主は言われます。それに気付かずにつけていたイスラエルの民は大きな恥を見ることになりました。

主以外のものを神のように拝んだり、頼ったり、従ったりすることは、永遠の視点からは恥ずかしいことであると自覚しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたその部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 13日 水曜

エゼキエル

16:53 わたしは彼女たちを元どおりにする。ソドムとその娘たち、サマリアとその娘たち、また彼女たちの中にいるあなたを元どおりにする。

16:54 こうして、あなたは自分自身の恥辱を負い、あなたが彼女たちを慰めたときにしたすべてのことによって、辱めを受ける。

16:55 あなたの姉妹たち、ソドムとその娘たちは元のところに帰り、サマリアとその娘たちも元のところに帰り、あなたとあなたの娘たちも元のところに帰って来る。

16:56 あなたは、高ぶっていたときには、あなたの妹ソドムを悪いうさの種にしていたのではないか。

16:57 しかしそれは、あなたの悪がさらけ出される前のことであって、今はアラムの娘たちや、その周りのすべての者、およびペリシテ人の娘たちのそしりの的となっている。彼女たちはあなたを四方から侮っている。

16:58 あなたは、自分の淫らな行いと忌み嫌うべきわざの報いを受けている——【主】のことば。

16:59 まことに、【神】である主はこう言われる。わたしは、あなたがしたとおりのことをあなたに返す。あなたは誓いを蔑んで、契約を破ったのだ。

16:60 だが、わたしは、あなたが若かった日々あなたと結んだ契約を覚えて、あなたと永遠の契約を立てる。

16:61 わたしがあなたの姉と妹を選び取って、あなたとの契約には含まれていないものの、わたしが彼女たちをあなたの娘としてあなたに与えるとき、あなたは自分の生き方を思い

出し、恥じることになる。

16:62 わたしがあなたとの契約を新たにするとき、あなたは、わたしが【主】であることを知る。

16:63 こうして、わたしが、あなたの行ったすべてのことについてあなたを赦すとき、あなたはそれらを思い出して恥を見、もう自分の恥辱のために口を開くことはない——【神】である主のことば。』』

16:59 まことに、【神】である主はこう言われる。わたしは、あなたがしたとおりのことをあなたに返す。あなたは誓いを蔑んで、契約を破ったのだ。

16:60 だが、わたしは、あなたが若かった日々あなたと結んだ契約を覚えて、あなたと永遠の契約を立てる。

このように主は約束のゆえにイスラエルを赦し回復すると言ってください。それが主の愛です。同じように新約の今も、主は十字架の約束のゆえに赦し回復を与えてくださいます。

ただし主の赦しは「忌み嫌うべきわざの報いを受け」た後であるとも言われます。罪の報いは受けなければならないのです。ここにある旧約のできごとは永遠のさばきと救いのひな型です。永遠ということに関して言うなら、さばきは永遠の滅びです。

しかし、主はそのさばきを神のひとり子イエス様にくだりました。私たちはそれゆえに救われました。今日も主に感謝しましょう。その思いを表しましょう。



①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



14日 木曜

エゼキエル



17:1 次のような【主】のことばが私にあった。
17:2 「人の子よ。イスラエルの家に謎をかけ、たとえを語れ。
17:3 『【神】である主はこう言われる。大きな翼、長い羽、色とりどりの豊かな羽毛の大鷲が、レバノンに飛んで来て、杉のこずえを取り去り、
17:4 その若枝の先を摘み取り、それをカナンの地へ運び、商人の町に置いた。
17:5 また、その地の種も取って来て、肥えた土地に植え、豊かな水のそばに柳のように植えた。
17:6 それは生長し、丈は低いが、よく生い茂るぶどうの木となった。その枝は鷲の方に向き、根は鷲の下に張り、こうして、ぶどうの木となって、枝を作り、若枝を出した。
17:7 さて、大きな翼と豊かな羽毛を持つもう一羽の大鷲がいた。すると、このぶどうの木は、潤いを得るために根をその鷲の方に向けて伸ばし、その枝を、自分が植わっているところからその鷲の方に伸ばした。
17:8 このぶどうの木は、枝を伸ばし、実を結んで見事なぶどうの木となるように、水の豊かな良い地に植えられていた。』
17:9 言え。『【神】である主はこう言われる。それはうまく育つであろうか。その根は抜き取られ、その実は摘み取られ、芽の付いた若枝はことごとく枯れないだろうか。それは枯れる。それを根こそぎ引き抜くのに、大きな力や多くの人々を必要としない。
17:10 見よ。それは植えられたが、うまく育つだろうか。東風がそれに吹きつけると、

すっかり枯れてしまわないだろうか。その芽を出した苗床で、それは枯れてしまふ。』」

大きな鷲はバビロンとその王ネブカドネザルを表します。また杉のこずえはユダのエホヤキン王、ぶどうの木はゼデキヤ王を表します。すなわち、ユダ王国末期の王は、外国の武力によって別の地に連れて行かれるということで、実際に預言の5年後にそれが起こりました。

そして「もう一羽の大鷲」とはエジプトのことです。ゼデキヤ王はエジプトの方に枝を伸ばすようにして、助けを求めたのです。しかしそれは失敗してしまいました。主のご計画とは反する事だったからです。

主のさばきによる苦難が起こりましたが、主はその中でも、バビロニアに隷属することで生き延びるように知恵を与えてくださいました。それにも関わらず、ユダの王はエジプトに頼って失敗したのです。

新約においても、救いの道は一つであることを再認識しましょう。それはイエス様の救いです。ならば、現実の困難に際してもイエス様にこそ救いを求めましょう。そして従いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



15日 金曜

エゼキエル



17:11 次のような【主】のことばが私にあった。

17:12 「さあ、反逆の家に言え。『これらがどういふことなのか、あなたがたは知らないのか。』こう言え。『見よ。バビロンの王がエルサレムに来て、その王とその首長たちを捕らえ、バビロンの自分のところへ連れて行った。』」

17:13 そして彼は王族の一人を選んで、その者と契約を結び、忠誠を誓わせた。彼はこの国のおもだった者たちも連れ去っていた。

17:14 それは、この王国を低くして立ち上がれないようにし、その契約を守らせて存続させるためであった。

17:15 ところが、彼はバビロンの王に反逆し、使者をエジプトに送り、馬と軍勢を得ようとした。そんなことをして、うまく行くだろうか。助かるだろうか。契約を破って助かるであろうか。

17:16 わたしは生きている——【神】である主のことば——。彼は、自分を王位に就けた王との誓いを自ら蔑み、また、自ら契約を破ったので、その王の住む場所、バビロンで必ず死ぬ。

17:17 戦争になって、多くの者を絶ち滅ぼそうとして、壘が築かれ包囲壁が設けられるときでも、ファラオは決して大軍勢と大集団で彼をかばうことはない。

17:18 彼は誓いを蔑み、契約を破った。彼は誓っていないながら、これらすべてのことをしたのだ。彼は助からない。

17:19 それゆえ、【神】である主はこう言われる。わたしは生きている。彼が蔑んだわた

しの誓い、彼が破ったわたしの契約、これを必ず彼の頭上に返す。

17:20 わたしは彼の上にわたしの網をかけ、彼はわたしの罾にかかる。わたしは彼をバビロンへ連れて行き、そこで、わたしの信頼を裏切ったことについて彼をさばく。

17:21 彼の軍隊の逃れた者もみな剣に倒れ、残された者も四方に散らされる。このとき、あなたがたは、【主】であるわたしが語ったことを知る。』」

17:22 【神】である主はこう言われる。「わたしは高い杉のこずえを取り去り、そのうちから柔らかい若枝の先を摘み取り、わたし自ら、それを高くそびえる山に植える。

17:23 わたしがそれをイスラエルの高い山に植えると、それは枝を伸ばし、実を結び、見事な杉の木となる。その下にはあらゆる種類の鳥が宿り、その枝の陰に住む。

17:24 このとき、野のすべての木は、【主】であるわたしが高い木を低くし、低い木を高くし、生木を枯らし、枯れ木に芽を出させることを知る。【主】であるわたしが語り、わたしが行く。」

主がエジプトに頼るなど命じられたのに、ユダの王はそれを「蔑み…破り」しました。彼も目にはエジプトが頼もしく感じたのです。人の力を主の力よりも大きなものとしてしまったのです。

私たちも同じようになってしまう危険性があります。主の御命令よりも人をあてにする、主の約束よりも人をあてにするということはないでしょうか。人は結局は「決して大軍勢と大集団で彼をかばうことはない。」のですから、振り回されることをやめましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



16日 土曜

エゼキエル



18:1 次のような【主】のことばが私にあった。

18:2 「あなたがたは、イスラエルの地について、『父が酸いぶどうを食べると、子どもの歯が浮く』という、このことわざを繰り返しているが、いったいどういうことか。

18:3 わたしは生きている——【神】である主のことば——。あなたがたがイスラエルでこのことわざを用いることは、もう決めてない。

18:4 見よ、すべてのたましいは、わたしのもの。父のたましいも子のたましいも、わたしのもの。罪を犯したたましいが死ぬ。

18:5 人が正しい者であるなら、公正と義を行う。

18:6 丘の上で食事をせず、イスラエルの家の偶像を仰ぎ見ず、隣人の妻を汚さず、月のさわりのある女に近寄らず、

18:7 だれも虐げず、質物を返し、物をかすめ取らず、飢えている者に自分の食物を与え、裸の者に衣服を着せ、

18:8 利息をつけて貸さず、高利を取らず、不正から手を引き、人と人との間を正しくさばき、

18:9 わたしの掟に従って歩み、わたしの定めを守って真実を行う。このような人が正しい人であり、この人は必ず生きる——【神】である主のことば。

18:10 しかし、彼が子を生子、その子が無法者で、人の血を流し、先に述べたことの一つにでも違反する場合、

18:11 すなわち、それらすべてのことをしようとせず、かえて丘の上で食事をし、隣人の妻を汚し、

18:12 乏しい人や貧しい人を虐げ、物をかすめ取り、質物を返さず、偶像を仰ぎ見、忌み嫌うべきことをし、

18:13 利息をつけて貸し、高利を取ったなら、こういう者ははたして生きるだろうか。彼は生きられない。これらすべての忌み嫌うべきことをしたのだから、必ず死ぬ。その血の責任は彼自身にある。

18:14 ただし、彼が子を生子、その子が父の行ったすべての罪を見て反省し、そのようなことを行わない場合には、

18:15 すなわち、丘の上で食事をせず、イスラエルの家の偶像を仰ぎ見ず、隣人の妻を汚さず、

18:16 だれも虐げず、質物をとどめておかず、物をかすめ取らず、飢えている者に自分の食物を与え、裸の者に衣服を着せ、

18:17 貧しい者を苦しめることから手を引き、利息や高利を取らず、わたしの定めを行い、わたしの掟に従って歩むなら、そのような人は自分の父の咎のゆえに死ぬことはなく、必ず生きる。

18:18 彼の父は虐げを行い、兄弟の物をかすめ取り、良くないことを自分の民の中で行ったのだから、確かに自分の咎のゆえに死ぬ。

18:19 あなたがたは『なぜ、その子は父の咎を負わなくてよいのか』と言う。その子は、公正と義を行い、わたしのすべての掟を守り行ったのだから、必ず生きる。

18:20 罪を犯したたましいが死ぬのであり、子は父の咎について負い目がなく、父も子の咎について負い目がない。正しい人の義はその人の上であり、悪しき者の悪はその者の上にある。

人が滅びるのは自分自身の罪のためであるということが、分かりやすくそして印象的に語られています。信仰も同じで、親の不信仰でさばかれることはなく、また親の信仰で救われるのでもありません。

同様に教会が熱心でも、自分自身が熱心でなければ祝福は得られませんし、もしも教会が停滞していても、自分自身が主のために生きるなら主は恵みを与えてくださいます。要は自分自身なのです。

そこでもう一度ここにある信仰の生き方を適用しましょう。(丘の上で食事とは偶像の場所のことです。)

①神のみこころは？(信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど)

②どんな思いになりましたか？(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか？(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか)

④この世にあって何を実践しますか？



17日 日曜

エゼキエル

18:21 しかし、悪しき者でも、自分が犯したすべての罪から立ち返り、わたしのすべての掟を守り、公正と義を行うなら、その人は必ず生きる。死ぬことはない。

18:22 彼が行ったすべての背きは覚えられないことがなく、彼が行った正しいことのゆえに、彼は生きる。

18:23 わたしは悪しき者の死を喜ぶだろうか——【神】である主のことば——。彼がその生き方から立ち返って生きることを喜ばないだろうか。

18:24 しかし、正しい人が正しい行いから離れ、不正を行い、悪しき者がするようなあらゆる忌み嫌うべきことをするなら、彼は生きるだろうか。彼が行ったどの正しいことも覚えられず、彼が犯した不信と陥った罪のゆえに、彼は死ななければならない。

18:25 あなたがたは『主の道は公正でない』と言っている。さあ聞け。イスラエルの家よ、わたしの道は公正でないのか。公正でないのはあなたがたの道ではないのか。

18:26 正しい人が自分の正しい行いから離れ、不正を行うなら、彼はそれゆえに死ぬ。自分が行った不正によって死ぬ。

18:27 しかし、悪しき者でも、自分がしている悪事から立ち返り、公正と義を行うなら、彼は自分のたましいを生かす。

18:28 彼は反省して、自分のすべての背きから立ち返ったのだから、必ず生き、死ぬことはない。

18:29 しかし、イスラエルの家は『主の道は公正でない』と言う。イスラエルの家よ、わたしの道は公正でないのか。公正でないのは



あなたがたの道ではないのか。

18:30 それゆえ、イスラエルの家よ、わたしはあなたがたを、それぞれその生き方にしたがってさばく——【神】である主のことば——。立ち返り、あなたがたのすべての背きから身を翻せ。不義に引き込まれることがないようにせよ。

18:31 あなたがたが行ったすべての背きを、あなたがたの中から放り出せ。このようにして、新しい心と新しい霊を得よ。イスラエルの家よ、なぜ、あなたがたは死のうとするのか。

18:32 わたしは、だれが死ぬのも喜ばない——【神】である主のことば——。だから立ち返って、生きよ。」

「悪しき者」でも悔い改めて正しい行いに立ち返ることがあります。一方、「正しい者」でも正しい行いから離れ、不正を行う」ことがあります。主はその人を悪か正かのレッテルでは見ないということです。

ですから私たちは過去にどうであったかに捉われる必要はありません。今、主に従いましょう。または人を見る時も、その人にレッテルを貼るのではなく、今主への従いがどうであるのかを見ましょう。

長年の信仰にあぐらをかいて、自分が特別な者のように感じてしまわないように、常に生きた信仰で主に従いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

